

公益社団法人 上伊那教育会 第5回 総会

期日：令和8年3月6日（金） 会場：上伊那教育会館講堂

- 1 開会
- 2 上伊那教育会の歌『仰望』
- 3 会長挨拶
- 4 信濃教育会第29回教育研究論文教育実践賞受賞贈賞式
- 5 報告
 - (1)信濃教育会常任委員会 報告
 - (2)信濃教育会臨時総会 報告
- 6 議事
 - (1)第1号議案「令和8年度上伊那教育会事業計画（案）」の承認に関する件
 - (2)第2号議案「令和8年度上伊那教育会収支予算書（案）」の承認に関する件
 - (3)第3号議案「令和8年度上伊那教育会資金調達及び設備投資の見込み（案）」の承認に関する件
- 7 協議
 - (1)令和8年度当初の会員募集について
- 8 諸連絡
 - (1)「令和7年度 研究調査部研究のまとめ・人権教育実践事例集」について
 - (2)令和8年度教育関係年間計画について
 - (3)令和8年度教育会各種委員会推薦について
 - (4)令和8年度役員選挙について
 - 役員等候補選出委員の確認
 - 年度当初の選挙事務について
 - (5)令和8年度教科等教育研究会加入について
 - (6)令和8年度会員名簿の提出について
- 9 議長退任挨拶
- 10 閉会の言葉



松崎 善幸 会長



総会の様子

松崎 善幸 会長 挨拶

皆様こんにちは。あっという間に3月となり、年度末が近づいてきました。そんな最も忙しい時期の総会で申し訳ありません。第5回総会にお集まりいただき、誠にありがとうございます。このメンバーで歌う「仰望」も最後となりましたが、指揮の富成先生、伴奏の矢澤先生に、この場をお借りしお礼申し上げます。ありがとうございました。毎回、大変気持ちよく歌うことができました。また、議長の松井先生、副議長の宇治先生（本日欠席）にも、総会の運営で大変お世話になりました。ありがとうございました。本日は今年度最後の総会になりますので、このメンバーで集まることも最後になります。1年間、本当にありがとうございました。私の挨拶も最後になるので、少しだけお時間をください。

これまでも何回かお伝えしてきましたが、今年度は戦後80年の節目を大切に思い、「戦争・平和・命」について会員の皆様と改めて考える事業を進めてきました。総研修会「仰望の日」の会員発表や講演会。郷土研究講習会や少年の塔慰霊祭・・・等、ここにお集まりの皆様はもちろんですが、各校の先生方にも少しは、そういうことを考える機会になればありがたいと思って進めてきました。ご協力いただいた皆様に、心より御礼申し上げます。

また、哲学・文学・授業・・・の三大研修をはじめ、東京都渋谷区の未来科を学んだ県外視察研修、今日的な課題についてグループ討議を中心に学び合った「仰望カフェ」、どの研修会にも各校から参加者を募っていただきましたが、代議員の皆様や校長先生教頭先生の後押しがあつてのことと思います。感謝致します。一つ一つは振り返れませんが、職能研修事業・児童生徒育成事業・郷土研究事業・不動産貸与や会員共済事業・運営広報事業等々、上伊那教育会の令和7年度の全ての事業を円滑に進めることができました。重ねて御礼申し上げます。

先日発行された教育会報に研修部長の清水ひろみ先生が「自分が主体となるのが研修」と題して熱い思いを寄稿されていますがお読みいただいでしょうか。これを読ませていただく中で、教育会は何のためにあるのかを考えたとき、校種を超えて、年齢も様々な、そして色々立場も違う教職員が、主体的に自らの学びのために、また子どもたちのために、更には地域のために、自分で会費を払って集っている学ぼうとしているそういう会だと思います。教師(教職員)が、自らの職能を高めることで、子どもたちや地域にそれらを還元できる、だからこそ公益社団法人の名もいただき、今日もそうですが、勤務場所を離れて研修や各事業を進めることができる(職免)、それが教育会です。これからも教師が「自ら学ぶ・共に学ぶ」その気風を大切にいただければと思います。今年度のテーマにさせていただいた、「共育・協育・響育 ～共に協力し、響き合って育つ～」を、今年度の各事業を通して、具現していただいたと思っています。本当にありがとうございました。前回の総会で「あり方委員会」から、教育会の組織や事業の見直しについても答申をいただいていますので、次年度はそれらの課題について具体的に策を立て、前に進める・・・そんな年になるかと思っています。佐々木副会長が、雑誌「上伊那教育」の巻頭言で、「学びで支え、学びでつながる ～上伊那教育会の次への一步～」と題して課題や願いを書かれています。また、お読みいただければと思います。ある先生が「教育会へ今日行くかい？」という、だじゃれを言われたことがあります。そんな温かい会話が各校で響き合って、これからも多くの先生方が教育会に集えるように、みんなで学び合えるように、引き続きご支援をお願いします。本日はありがとうございます。よろしくをお願いします。

信濃教育会第29回教育研究論文教育実践賞受賞贈賞式

松崎会長から信濃教育会第29回教育研究論文教育実践賞「入選」を受賞された1名、2団体の紹介があり、それぞれに表彰が行われました。そのあと、受賞者からスピーチをいただきました。

<個人の部> 入選

○伊那市立伊那西小学校 寺川 耕平 教諭

タイトル： 誰一人も取り残さない体育授業の創造
～インクルーシブな視点から再構成したベースボール型授業の実践～

<グループの部> 入選

○伊那市立高遠北小学校 表現部会 代表 村上 春太 教諭

タイトル： 高遠北小学校における表現活動～

○駒ヶ根市立赤穂東小学校 特別支援教育部会 代表 村澤 陽介 教諭

タイトル： 特別支援教育の視点を取り入れた体育科の授業改善



寺川耕平 先生



村上春太 先生



村澤陽介 先生

報 告

- (1)信濃教育会常任委員会 報告 (松崎会長)
- (2)信濃教育会臨時総会 報告 (清水常任)



議 事

- (1)第1号議案「令和8年度上伊那教育会事業計画(案)」の承認に関する件
会長から提案、各部長、事務局長から説明がありました。採決の結果、承認されました。

上伊那教育会 令和8年度 テーマ及び事業の方向と重点 ※議案書より抜粋
＜テーマ＞ つなぐ つながる 私たちの学び ～子どものために、仲間と歩む～
＜事業の方向と重点＞
柱1：研修を「つなぐ」—声をかけ合い、学びの場へとつなぐ取組
柱2：研修を通して「つながる」—仲間との関係性を深め、学びを次へと広げる取組
柱3：子どもの学びや育ちに「つながる」—子どもや地域社会のためになる取組
柱4：会員と研修を「つなぐ」—情報発信と参加しやすさの工夫
柱5：次代へ教育会を「つなぐ」—伝統の継承と持続可能な事業の展開

- (2)第2号議案「令和8年度上伊那教育会収支予算書(案)」の承認に関する件
事務局長から説明がありました。採決の結果、承認されました。
- (3)第3号議案「令和8年度上伊那教育会資金調達及び設備投資の見込み(案)」の承認に関する件
事務局長から説明がありました。採決の結果、承認されました。

協 議

令和8年度当初の会員募集について、各校の取組や新たな工夫等を小グループで意見交換し、代表して3名の代議員に発表していただきました。

＜出されたご意見＞

- 新規採用の先生方をどのように勧誘するのか。作品展など、子どもたちのためにあることを伝えたい。年配の先生方に声をかけるのは大変勇気がいるが、校長先生方にも声掛けをしていただきたい。お試し期間を設けたり、哲学研修などにはお金をかけていただき、参加者に負担がかからないような工夫があってもよい。
- 学年主任の先生方にも協力をしていただき、複数で呼びかけていく。本校では、学年会にお邪魔して勧誘している。新しく来た先生方も入っていただくことができる。学年の先生方の声かけ等、人と人とのつながりに入っていただくことができる。
- 上伊那教育会にはほぼ入っている。会員同士で顔見知りであるのも影響している。教科のつながりから教科での勧誘もよい。養護学校では、各部長さんから声をかけていただいている。教育会行事に出てよかったことを話していただくことで勧誘につながるのではないかと感じている。



柴哲也代議員



井上雅仁代議員



伊藤達也代議員

諸連絡

- (1) 「令和7年度 研究調査部研究のまとめ・人権教育実践事例集」について 【有賀常任】
- (2) 令和8年度教育関係年間計画について 【近藤幹事】
- (3) 令和8年度教育会各種委員会推薦について 【大木島幹事長】
- (4) 令和8年度役員選挙について 【根橋常任】
 - 役員等候補選出委員の確認
 - 年度当初の選挙事務について
- (5) 令和8年度教科等教育研究会加入について 【中山幹事】
- (6) 令和8年度会員名簿の提出について 【浦山事務局長】

議長退任挨拶

今回の総会をもって1年間議事を進行してきていただいた議長団が退任となりました。当日、宇治副議長は欠席でありましたが、1年間、丁寧な議事運営を行っていただいたお二人に心より感謝申し上げます。

議長：松井 建代議員(新山小)
副議長：宇治 恵美代議員(南部小)



佐々木 英明副会長 閉会の言葉



本日は、年度末の成績処理、送る会・卒業式等の行事に向けて大変お忙しい中を、ご参集いただき、ありがとうございました。会館に来る途中、広域農道を走っていると、土手には水仙の花が、民家の庭先には梅の花がきれいに咲いていました。例年より早い春の訪れを感じながら、春の日差しの注ぐ温かな卒業式を迎えたいなあと思います。さて、信濃教育会教育研究論文・実践賞には、先ほど紹介がありました3本の入選を含めて、31の個人、グループに応募いただきました。信教へ送付するために、確認しながら論文を読ませていただきましたが、先生方の日々の実践や教育への思いが伝わってきて、実際にお話する機会ができたらいなあと思いました。ご応募いただいた学校や先生方に心から感謝申し上げます。代議員の皆様から、よろしくお伝えください。今年度上伊那教育会は、「共育・協育・響育 ～共に協力し響き合って育つ～」のテーマのもと、会員同士のつながりをつくり、今日的な課題についても学べる場として「上伊那仰望カフェ」の創設、戦後80年に合わせた平和教育研修の充実など、すべての事業を成功裏に終えることができました。これも各校で会員に呼び掛けたり、参加のための補充を組んだりして、ご尽力いただいた代議員の皆様のおかげです。大変ありがとうございました。さて、先ほどは来年度の事業計画等をご承認いただき、ありがとうございました。上伊那教育会は令和11年に150周年を迎えます。記念事業の一つとして、記念誌の発行を予定しています。記念誌編纂委員会を設置し、4月より編纂作業を進めていただきます。委員会の正副委員長は、本日理事として出席いただいています、前上伊那教育会長 赤羽隆先生に委員長、前上伊那教育会常任委員長 久保田雅樹先生に副委員長をご委嘱させていただきます。そして、来年度は、教育会の各種事業を時代へつなぐ、仲間をつなぐことを大切にしながら、子どもたちのために明日の授業につながる、上伊那の仲間がつながる事業を進めていきたいと思っています。今年度同様に教育会の諸事業へご協力をいただけますようお願い申し上げます。そのためにも一人でも多くの仲間が必要です。年度末からの代議員の皆様による声がけと、年度当初の教育会を知る研修、そして今の話し合われた工夫を含めて、各校で加入促進を図っていただくようよろしくお願いいたします。以上、関係する全ての皆様にお礼を申し上げ、閉会の挨拶といたします。一年間ありがとうございました。

上伊那教育会で 仲間と一緒に学びましょう！

令和8年度 教育会テーマ
つなく つながる 私たちの学び
～子どものために、仲間と歩む～



総研修会『仰望の日』
期日 5月20日(水)
場所 伊那文化会館
会員発表 小池 尚美 会員
教育会合唱による合唱演奏
講演会 **舞の海秀平**さん



教育会で学ぶ良さ

- ・人とのつながりが広がり一緒に学ぶ仲間ができます
- ・教師としての力を育み磨ける場があります
- ・共に学ぶことで、お互いに支えている自分、支えられている自分を自覚できます



上伊那教育会の理念

- ・はじめに子どもありき
- ・限りなき土着性の追求
- ・たゆまぬ教師の研鑽



お互いの思いを語り
学び合う研修
<三大研修>

哲学研修 5～7月(4回)
夏期講習 7/28～29
(参加者の声) 学校現場で出会ったことや感じたことが、ここで学んだ「純粋経験」なんだと気づきました。考えることの楽しさを感じることができました。

文学研修 5～10月(5回)
文学講演会 10/27
(参加者の声) 読み合わせでは、自分が気づかなかった視点に出会い作品の読み方が広がりました。毎回その時間が楽しみでした。

授業研修 5～1月(8回)
授業研修会 1/22
(参加者の声) 子どもの記録をとることの大切さを学びました。記録を通してその子の見方が深まりました。



<仰望カフェ>
今日的な課題に対応する研修です。
(参加者の声) お茶と美味しいケーキを囲んで、じっくり語り合える時間でした。校内でこういう時間は取りにくいので、このような時間はとても有意義だと思いました。

<県外視察研修>
今年は一泊で加賀市の取り組みを視察する予定です。
(参加者の声) テーマ探究で学級全体で問いを持ち、ゆ探究で個々の問いへつなげるというアプローチは、発達段階に応じて本校でも取り組めそうだと思います。

<新入会員歓迎研修会>
新しく上伊那にお越しの先生方を大歓迎します
(参加者の声) 「仰望」の歌のことがよく分かり、他校の先生と仲良くなれました。お勤めの温泉やスイーツ情報もゲットできました！



一年間ありがとうございました。
来年度も上伊那教育会会員として、子どもたちのために共に研鑽を積んでまいりましょう。